

# 会報 第37号

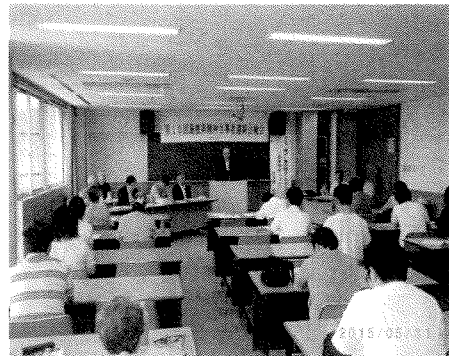
## 島根県精神当事者連絡会



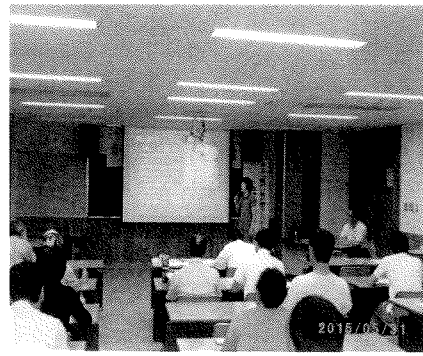
平成 27 年 5 月 31 日(日)第 10 回島根県精神当事者連絡会総会の模様 いきいきプラザ島根(松江)にて



会長あいさつ



来賓のあいさつ



N 氏の講演

島根県精神当事者連絡会 総会に参加して 会長 Sさん

平成 27 年 5 月 31 日(日)13 時～15 時総会を開催した。総会は、前年度の事業報告と会計報告そして会計監査報告、今年度の事業計画と予算案についての承認等が行なわれました。あと半分は、発達障害当事者会の代表 N 氏による「障がい者が語る、これからのライフプラン～生きやすく～」という演題で話されました。多くの事を短時間に話されましたが、納得の内容でした。難波さんありがとうございました。

### 第 10 回島根県精神当事者連絡会 総会 参加者の声

- ◎自分自身が出来る、出来ない事が明確になった。(当事者)
- ◎仕事をミスしても頑張っておられる。(当事者)
- ◎ワーク・ライフ・バランスが精神障がい者には大切だと思いました。(当事者)
- ◎すごく勉強になりました。今後の生き方や仕事の参考になりました。(当事者)
- ◎障がいをお持ちの方がこんな活動をされている事に驚きました。(当事者)  
ゆるゆる生きる・ゆるゆる働く、という考え方、生きやすく生きたらいいという考え方に共感しました。(当事者)
- ◎生きやすさ・働く事、どんなやり方があるか、工夫していこうと思いました。(当事者)
- ◎共感の嵐でした。聞きたいこと正直山ほどあります。でも、デリケートな問題なので、みなさんの前では聞けません。  
ただ、同士がいる山陰にも。それだけで心強く思いました。(当事者)
- ◎発達障害当事者としての思いをあらためて知れてよかった。  
共に生きる。決して見放さない・・・努力していきたいです。(家族)
- ◎発達障害の講演を聞いたのは初めてだったので参加できて良かったです。  
長男(25 歳)が、発達障害ですが、今の私の接し方でいいのかな？と思いました。(家族)

- ◎発達障害者に接する事を学んだ(家族)
- ◎今までとは違う新しい視点がうけとれました。(福祉・医療関係者)
- ◎難波さんの独演がすばらしかった。(福祉・医療関係者)
- ◎当事者の話は大変貴重です。それも、地元の方というのは大変意義が大きいです。  
ぜひ、もっと聞きたいです。(福祉・医療関係者)
- ◎一応、支援者なのですが、支援者側の目線(予測というか・思い込みかも?)で  
かかわってしまうことばかりで、当事者の発信が直接うかがえる良い機会でした。  
ありがとうございました。(福祉・医療関係者)
- ◎私の職場にも統合失調症の人がおられるのですが、今の難波さんのコメントを参考に  
当事者の方と一緒に考えて働いていきたいと思います。  
色々平坦ではありませんが、一緒にやっていきたいと思います。(ボランティア)

私の今年の活動内容・抱負 副会長 Aさん

松江市は6月に「松江市障がい者差別解消条例」(仮称)の制定に向け検討委員会を立ち上げた。私は、公募で委員に選ばれた。松江市松浦市長は、初会合で「住みやすさの実現に向け、障がいのある人に配慮したまちづくりを進めたい」とあいさつされた。私の使命は、障がい者の当事者として差別に関しての声を訴えることだ。又、同月、しまね障がい者フォーラム 代表幹事 福井 幸夫さんを中心とした組織の協力団体として参加している「島根県精神当事者連絡会」の代表として「誰もが暮らしやすい共生社会の実現に向けた要望」を、島根県溝口知事にメンバーの一員として訴える機会を頂いた。今年は、障がい者が今までの差別に対する認識を改善することのできる重要な年である。どうしても、受け身になりがちな我々であるが、積極的に「社会の壁」を無くすため行動することが必要不可欠である。私も、原点に戻って「まつえ障がい児・者ボランティア講座」を受講し、障がい者のことを勉強しなおしている。一步一步前進している。当事者としてジャンヌ・ダルクのように、みんなを引っ張る力をつけ、堂々と声を挙げていきたい。

### ＜行 事 案 内＞

講演内容：Dr. 長さんの講演コンサート  
～誰も「あなた」にはなれない～

講 師：長坂 行博 氏

プロフィール：和歌山県出身。1987 年、島根医科大学卒業後、同大学付属病院にて循環器内科専攻。

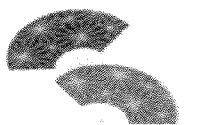
心の医学の重要性を感じ、1993 年に三瓶山麓の池田診療所を開設し、今日に至る。

日時：8月1日(土)13:30～16:00

場所：大田あすてらす(JR 大田市駅前) 3F 研修室

※ 参加無料・申込不要

島根県精神当事者連絡会・島根県精神保健福祉士会 共催 大田市後援



障がい者に対する、差別、偏見をなくすための、シルバーリボンのキャンペーンを行っています。ぜひ協力をお願いいたします。

●原稿を募集します。投稿され、掲載された方は、若干の御礼をしますので、お願いいたします。